

「給排水設備技術基準・同解説 2006 年版」正誤表

本書に誤り等がありましたので、以下に訂正いたします。

H19/1/25

該当箇所		誤	正																
頁	行																		
11	表 1-2	(表中、項目除き上から 4 段目) <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">四 大腸菌群</td> <td>.....</td> </tr> <tr> <td>五 濁度</td> <td>.....</td> </tr> </table>	四 大腸菌群	五 濁度	(表中、項目除き上から 4 段目) <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">四 大腸菌</td> <td>.....</td> </tr> <tr> <td>五 濁度</td> <td>.....</td> </tr> </table>	四 大腸菌	五 濁度								
四 大腸菌群																		
五 濁度																		
四 大腸菌																		
五 濁度																		
23	図 2-1 告示欄 上から 15 行目 17 行目	建築基準法 建築基準法施行令 告示 昭和 50・代 1597 昭和 50・代 1597	建築基準法 建築基準法施行令 告示 昭和 50・第 1597 昭和 50・第 1597																
27	上から 3 行目	三 排水設備 (排水ポンプ.....)	三 排水設備 (排水ポンプ.....)																
28	上から 3 行目「建築設備耐震設計・ <u>施行</u> 指針.....「建築設備耐震設計・ <u>施工</u> 指針.....																
36	上から 7 行目のほか、凍結深度 <u>以下</u> に埋設すること、.....のほか、凍結深度 <u>より深く</u> 埋設すること、.....																
46	図 2-12	(別添) の図 2-12 に訂正																	
47	図 2-14	(別添) の図 2-14 に訂正																	
49	上から 12 行目	有効容量は <u>最高水位 (オーバーフロー管の下端等)</u> と最低水位 (給水管の <u>下端等</u>) との間を.....	有効容量は <u>定水位 (給水停止水位)</u> と最低水位 (給水管の <u>上端</u>) との間を.....																
53	図 2-18 (b)	管径 100mm 以下 ⇐ 管径 125mm <u>以下</u> ⇐	管径 100mm 以下 ⇐ 管径 125mm <u>以上</u> ⇐																
55	上から 9~17 行目	上記 1)~4)の対象となる衛生器具は、以下のものが挙げられる。 <u>1)</u> <u>2)</u> <u>3)</u> <u>4)</u>	上記 1)~4)の対象となる衛生器具は、以下のものが挙げられる。 <u>(1)</u> <u>(2)</u> <u>(3)</u> <u>(4)</u>																
59	下から 6 行目	排水が長時間、 <u>滞留</u> すると、 <u>滞留</u> し嫌気性状態になり.....	排水が長時間滞留すると、 <u>(削除)</u> 嫌気性状態になり.....																
65	図 2-30	(別添) の図 2-30 に訂正																	
	下から 5~6 行目多いので、 <u>図(a)</u> に示すように.....P形であっても <u>図(b)</u> に示す.....多いので、 <u>図 2-31(a)</u> に示すように.....P形であっても <u>図 2-31(b)</u> に示す.....																
68	下から 1 行目静圧の差が <u>1 0 0 Pa</u> を超える.....静圧の差が <u>1 0 0 0 Pa</u> を超える.....																
74	表 2-3	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;">通気方式</td> <td style="width: 25%;">種別</td> <td style="width: 25%;">必要通気料</td> <td style="width: 25%;">.....</td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </table>	通気方式	種別	必要通気料					<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;">通気方式</td> <td style="width: 25%;">種別</td> <td style="width: 25%;">必要通気量</td> <td style="width: 25%;">.....</td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </table>	通気方式	種別	必要通気量				
通気方式	種別	必要通気料																
通気方式	種別	必要通気量																
107	左段組 上から 8~10 行目	あふれ面 飲料水給水設備 上水の供給設備をいう。	あふれ面 (追記) <u>水があふれ始める水平面をいう。水の表面張力によりあふれ縁より少し高い面となる。</u> 飲料水給水設備 上水の供給設備をいう。																

(別添)

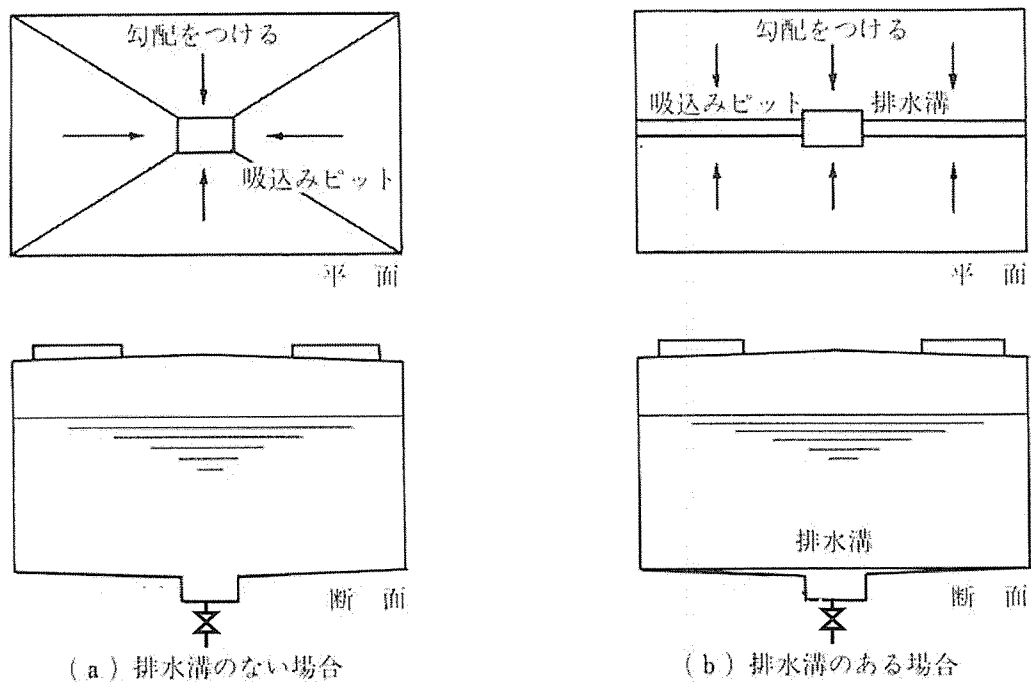


図 2-12 水を抜くことができる構造

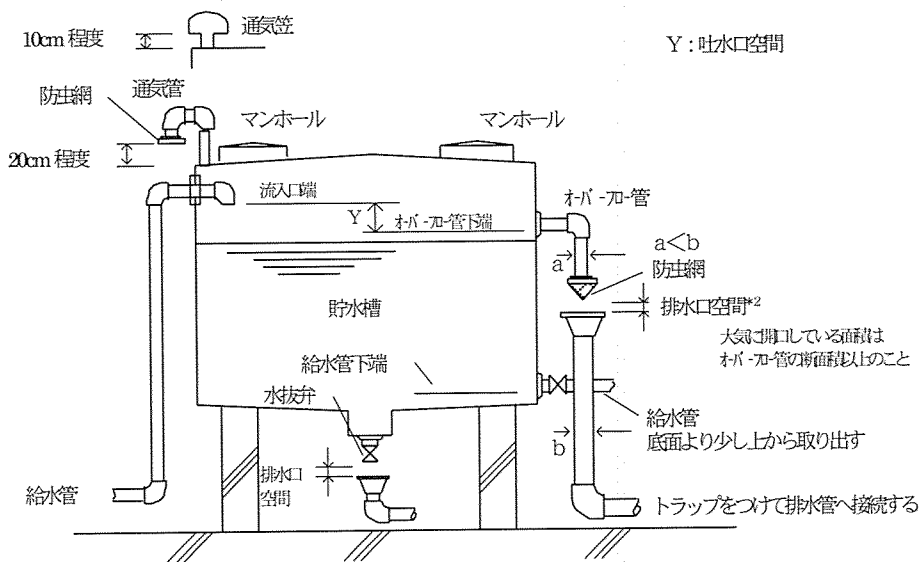


図 2-14 オーバーフロー管及び通気管の例

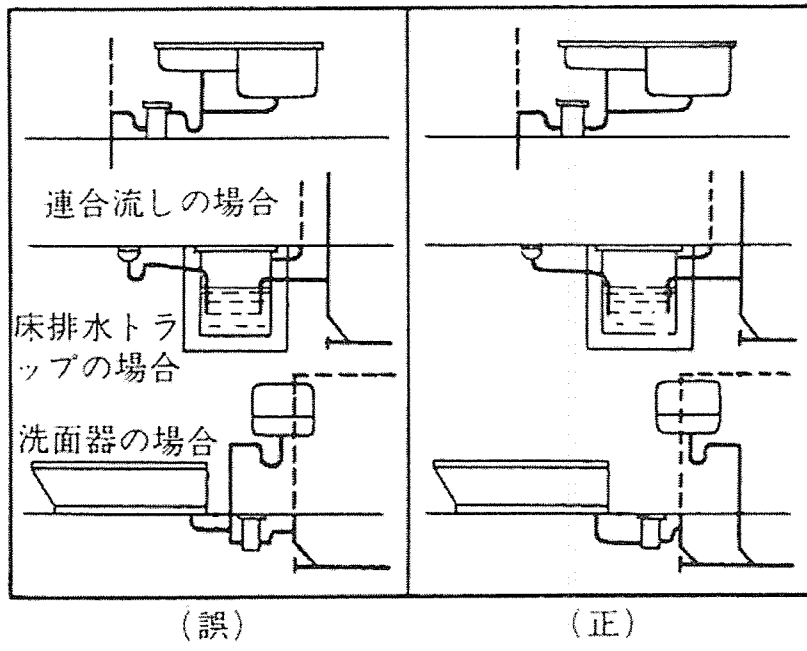


図 2-30 二重トラップの例